

市民俳歌柳壇

毎月20日で締め切り、締め切り日の翌々月の広報うつのみやで入選作品を発表します。

特選

美しいかと問うてみる初鏡

平松本町 菊池 志津子

特選

「花の二区」沿道の人の前のめり
悲喜こもごもの箱根駅伝

針ヶ谷1丁目 糟屋 宮子

特選

片足をすこしうかして乗る秤

清原台6丁目 小太刀 節子

●特選の選評

正月の朝、「心も顔も美しいだろうか？」と鏡に向かい、今年1年美しく過ごそうと誓った作者。作者は、心身ともに美しい人なのだろう。私も、「1年間元気に過ごせますように」と言ってみた。鏡の中で私の顔は笑顔になった。素晴らしい句に出会えてよかった。

●特選の選評

毎年お正月はこれが楽しみだという人が多いだろうが、今年は特にびつくりなどんでん返しがあり、期待通りの山の神ありで、いやあ、楽しかった。裏に血の滲むような練習があるのは知っているが、まさに「悲喜こもごも」。作者の心はここに表れていて、簡潔でとても良い。

●特選の選評

病気への備えや日々の健康のため体重を減らしたいと考え努力している人の多いこと、痩せたい願望がつい片足を上げさせる。しかし正直者の体重計は正確に承諾を得ること無く測定結果を出す。日常生活のユーモアを見事に捉えている。

俳句

入選



加茂都紀女先生

好きにだけ書け描け君の春の夢

下戸祭1丁目 豊田 まりえ

朝日さしシヨールをまとう古賀志山

桜5丁目 遠藤 芳孝

拍子取る杵と捏ね取り餅次掲けり

江曾島本町 中村 元吉

平気よとうそぶく夜寒ひとり膳

西刑部町 佐藤 榮子

短歌

入選



藤本 都先生

厳寒の朝指示を聞く職人の
安全帽を冬日が照らす

西2丁目 佐藤 順子

吾の決めし今年の漢字「行」とする
隙無く行い歩みてゆかむ

下荒針町 刈部 絹江

柿すだれ連なり揺れた軒先も
今年の秋は灯りがつかぬ

立伏町 望月 睦子

陽に輝く日本アルプスの山脈を
伊香保の街より立ちつくし見る

下栗町 田中 洋子

川柳

入選



佐藤隆久先生

上司より居酒屋の主人事知る

平松本町 川野 和美

治療より待つのに堪えて診察日

八幡台 羽場 京子

また無いわなくす手袋右手だけ

弥生2丁目 渡辺 裕子

老い夫婦余生楽しく泣き笑い

東堀田2丁目 渡邊 眞左

俳歌柳壇の応募方法

- 1人各3句（首）以内。俳句・短歌・川柳の併記は不可。
- 対象は市内在住者で、未発表作品。年齢問わず応募できます。
- はがき表面＝住所・氏名・ふりがな・応募する壇名。
- はがき裏面＝作品（漢字にはふりがなも）・作品への思い。
- 毎月20日（消印有効）までに、〒320-8540市役所広報広聴課☎（632）2028へ。
- WEBによる応募も受け付けます。詳しくは、市HPをご覧ください。

ID 1022877



▲市HP

表

住所・氏名・壇名	ふりがな	宇都宮市役所 広報広聴課
----------	------	-----------------

裏

作品 作品への思い	作品 作品への思い
--------------	--------------